

# 令和5年度 特定非営利活動法人全国こども福祉センター 事業報告書

- 1 事業目的
- 2 事業の実施に関する事項
- 3 事業評価・事業成果
- 4 収入と支出について
- 5 組織体制
- 6 会議に関する事項
- 7 その他

## 1 事業目的

特定非営利活動法人全国こども福祉センター（以下、本法人）は、子ども・若者に対して声かけ、対話交流、募金活動などアウトリーチ活動を実施し、互いの理解を深める。仲間との出会い、人間関係づくりを通じて支えあい、社会活動の参加、各々の福祉（幸福）を追求できる環境を提供する。

【本法人の定款】「次代を担う子ども達や大人も対象にした教育・文化活動や交流事業を組織的に行い、以って地域力の底上げや社会福祉の増進に寄与する」

## 2 事業の実施に関する事項

本法人は定款の目的（本法人の定款第5条第1項）のもと、特定非営利活動に係る事業（1）について対面、オンラインの方法で実施した。

（1）特定非営利活動に係る事業

- ①街頭パトロール・相談事業
- ②居場所づくり事業
- ③まちづくり事業
- ④シェルター・自立支援事業
- ⑤その他非行防止に関する事業

便宜上、上記の事業名称を使用し、①～⑤と事業別に分けているが、各事業内容が独立しているわけではなく、密接に関連している。事業ごとに独立している参加者やスタッフも存在しない。

### 【事業内容】

繁華街やSNS上で、声かけ（①）や対話・交流（①）を行うことで、その場（空間）自体が子ども・若者と路上生活者などの交流拠点、すなわち、居場所（②）をつくり出す。交流の場を開くことで、SOSを出したり、受け止めたりする場を提供する（①）。

街中でありながらも、ただの通り道となっている場で活動することで、意図的に人と人が出会う、繋がりが生まれる場を提供し、コミュニケーションを通じて、人間関係が築いている。名古屋市中村区を拠点に共同体、“まちづくり”を担う（③）。

必要に応じて、生きづらさを抱える子ども・若者や、虐待や暴力被害からの一時避難、緊急避難の場（シェルター）、同行支援を行う（④）。講演・研修、学生メンバーによる月刊メルマガ配信実施（⑤）。

## 3 事業評価の方法と事業成果

本法人は、社会課題の解決を第一の目的としていない。本人の福祉や利益も各々で異なるため、一律に評価を行うことは適さない。本報告では参加者数を挙げるが、個人の成果や評価を尊重することとする。

## 評価の方法、成果の根拠となるデータについて

活動時に参加者名簿を記録している。活動回数や参加者数は、本人の行動と選択の結果で客観的な事実であり、評価や成果の参考とする。交流の場という特性から、記録上確認できた項目（性別や年代、出身地域等）のみを計測する。

### (1) 参加者数

令和 5 (2023) 年度 活動回数 172 回、参加者総数 2,128 名 (のべ)

- ・支部活動や、声かけをした数は含まない。

### (2) 参加者の属性①：男女比、現住所（名古屋市内・名古屋市外）

	市内	市外	合計
男性	465	489	954
女性	363	716	1079
合計	828	1205	2033

※数値は、個人情報が取れたものに限る

### (2) 参加者の属性②：男女比、年代

中学生		高校生～19歳		20歳～29歳		その他	
男性	2	男性	121	男性	436	男性	388
女性	2	女性	170	女性	837	女性	77
小計	4	小計	291	小計	1273	小計	465

※数値は、個人情報が取れたものに限る

- ・昨年に続き、名古屋市内参加者より、市外参加者が約 400 人多い。
- ・10～29 歳の参加者は、女性の参加比率が多く、30 代以上は、男性参加者が多くなる。

表彰 1 件【第一回 未来をつくる こどもまんなかアワード受賞】

- ・内閣総理大臣表彰受賞（首相官邸） 2023 年 11 月 27 日

表彰候補 1 件【愛知県弁護士会人権賞】

- ・上記表彰が考慮され、最終選考で受賞ならず。

### (3) 相談・緊急支援

家族からの虐待や暴力被害により、強い対人不安を抱え、公的支援を利用できない若者に緊急支援として、必要に応じて同行支援や宿泊支援を行った（避難場所として事務所スペースを提供）。男性 2 名、女性 2 名（10 代男性のケースは、愛知県警、西部児童相談所に繋いでいる）が使用した。

保護者からの相談（男性 3 名、女性 3 名）に応じている。精神疾患や孤独、子どもの非行に関するものが確認された。

## 4 収入と支出について

- ・業務改善、操作性向上を目的に、会計ソフトを会計王 16 か freee へ変更（有料オンラインソフト）
  - ・令和 4 年度決算ミス「過年度損益修正益・損」に計上（長期借入金 25 万円の処理、現金 24 万円）
  - ・減価償却されていない固定資産を減価償却（堀尾税理士指導の下、適切に処理を行った）
- 詳細別紙（2023 年度活動計算書・貸借対照表・財産目録）、1 万 6 千円の黒字決算となっている。

## 5 組織体制

正会員 37名

役員（理事6名 監事1名）※正会員を兼ねる

理事長 荒井和樹（中京学院大学 専任講師）

理事 伊藤加奈子（ココカラウィメンズクリニック 院長）

理事 平澤恵美（明治学院大学 准教授 NPO 法人なかよし理事長）

理事 梶谷真司（東京大学大学院 教授）

理事 中里晋三（東京大学ヒューマニティーズセンター 認定 NPO 法人 Living in Peace 代表理事）

理事 岸田紀子（東海医療科学専門学校 専任講師）

監事 清水真一（会社員）

事務局 4名（年度途中に変更 井田真桜・中山陽平・加藤早耶香・荒井和樹）

相談員 3名（黒田祥子・加藤早耶香・山本義晶）

応援団 4名（林秋光・岡村いさお・梶谷真司・中里晋三）

広報 6名（希咲未来、池尾侑香、栗本未来、黒田祥子、加藤早耶香、山本義晶）

\*メルマガ編集チーム

経理 2名（年度途中に変更 加藤早耶香・井田真桜）

コアメンバーグループ：57名（昨年比+7）全員ボランティア

スポーツ・グループ：52名（昨年比-2）

## 6 会議に関する事項

【総会】 通常総会

2023年5月20日 16:00~17:00

会場：名古屋市中村区則武 1-16-8-405（事務所）& オンライン ZOOM

正会員 32名 うち出席 25名（委任含む）、計 25名

審議事項

第1号議案 2022年度事業報告と2022年度決算収支報告について

第2号議案 2022年度事業監査結果と2022年度会計監査報告結果について

第3号議案 2023年度事業計画（案）と2023年度予算（案）について

【理事会】 第一回理事会 2023年 5月20日 13:00~14:00

会場：名古屋市中村区則武 1-16-8-405（事務所）& オンライン ZOOM

理事 6名、出席理事 6名

審議事項

第1号議案 2022年度事業報告と2022年度決算収支報告について

第2号議案 2022年度事業監査結果と2022年度会計監査報告結果について

第3号議案 2023年度事業計画（案）と2023年度予算（案）について

## 7 その他

年間のべ約2千人の子ども・若者と、それを応援する寄付者（会員）のみなさまのおかげで本活動は成り立っています。その活動が実り、令和5年度は「第一回未来をつくる こどもまんなかアワード」最高賞（内閣総理大臣表彰）を受賞することができました。みなさまに感謝の意を表します。引き続き、ご支援いただけますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。